

# 第93回（中部支部第28回）研究発表会プログラム

開催日：2010年8月25日（水） 会場：名古屋工業大学2号館  
 統一テーマ：「実践的Qの確保」実現に効果的・効率的な取り組み

発表：25分，質疑討論：10分  
 ＊印は発表者

時 間	内 容	
12:00～12:30	受 付	
12:30～12:35	オリエンテーション(会場毎に実施)	
	第1会場〔1階 0211教室〕	第2会場〔2階 0221教室〕
	発 表 テ ー マ	発 表 テ ー マ
	座 長	座 長
12:35～13:10	【発表1-1】 コンピュータ実験における空間充填計画の性能比較 名古屋工業大学 石井 成	【発表2-1】 新製品の開発・生産準備における現行モデルの不具合情報の活用 ～言語情報の活用を試みデータベースの改善～ (株)豊田自動織機 松田 隆洋
13:15～13:50	【発表1-2】 CAPの本質と設計制約発見のための実験方法～第1報～ (株)デンソー 吉野 睦* 名古屋工業大学 仁科 健	【発表2-2】 飲食店を対象とした価値特性によるビジョニング (株)魚国総本社 山口 景生
13:55～14:30	【発表1-3】 標準SN比に変わる動的性能のロバスト最適化法 (株)デンソー 吉野 睦* 名古屋工業大学 仁科 健	【発表2-3】 グローバル検査法の展開へ向けた測定標準策定への取り組み (株)東海理化 井上 健
14:30～14:50	休 憩	
14:50～15:25	【発表1-4】 『品質は工程で造りこむ(自工程完結)』の実践 トヨタ自動車(株) 森 浩三	【発表2-4】 社内セミナーアンケート結果のT法による解析 (株)東海理化 柄洞 孝吉
15:30～16:05	【発表1-5】 幅広い実践活用を目指した応答曲面法セミナーの発展 ～ロバスト設計と応答曲面法の効率的な融合～ トヨタ自動車(株) 渡邊 克彦	【発表2-5】 実験計画法によるプロメリアの開花不良低減に関する研究 朝日大学 劉 恵躍* 朝日大学 畝本 一行 朝日大学 國澤 英雄
16:10～16:45	【発表1-6】 社内講師の育成方法に関する一考察 トヨタ自動車(株) 大浦地智哉	【発表2-6】 設計のための交差調和 慶應義塾大学 高橋 武則
16:50～17:25	【発表1-7】 問題解決力を高めるSQCセミナーの再構築 トヨタ自動車(株) 早坂 敏明	【発表2-7】 複数の特性の結合設計 慶應義塾大学 高橋 武則
	移動・休憩	
17:40～19:40	懇親会	